

Global Study Programの活動を通して

1. 活動時期

:2023.8.7~8.11

4年9組 宇田川 愛

2. 参加のきっかけ

:私は高入生で、この春に市川高校に入学したばかりで、内進生との関わりをもっと増やしてみたいと思い、先生の呼びかけもありGlobal Study Programに興味を持ちました。



3. 参加した感想

①参加する前と後の変化

参加のきっかけは「多くの人と関わってみたい!」という軽い理由でしたが、実際は用意の段階では英語が本当に苦手な私はうまくコミュニケーションを取れないのではないかと不安な気持ちも大きかったです。上手くコミュニケーションを取れないあまり、みんなの足を引っ張ってしまうかもしれない、、、と前日の用意を毎回念入りにしていましたが、実際はそんなことはありませんでした。私がびっくりしたのは、活動の形態です。前を向いて一つのホワイトボードにみんなで目を向けるのではなく、外国人大学生の指導のもと、みんなで立ち上がって背中に貼った紙にお互いの印象を書き合ったり、グループ対抗で英語でディベート大会をしたり、絵画をみて自分が考えた物語をお互いに語り合ったり、簡単なブースを作ってポスターセッションをするなど、本当に日本語でやっても楽しそうな活動を英語でみんなで緊張せずに楽しむことができました。



②活動中の面白かったポイント

この活動は、全5日間、夏休みの期間中に行われます。私が一番面白いと感じたことは、日に日に活動が盛り上がりみんなが打ち解けあっていると感じられたところです。本当にアクティブな活動が多いため、すぐにみんなと仲良くなれる気がします(笑)

また、英語でコミュニケーションを取る上で一番大切なのは、「伝えようとする」とひとひしと感じました。日本語でも、たとえば「りんご」「美味しい」の2単語でも「りんごは美味しい」という意味が通じますよね。それと同じです。もちろん英語を学ぶ上では文法は大事ですが、私はこの活動を通じて、やっぱり言語だから「相手に伝えようとする気持ち」も同じくらい大切なのではないかと改めて感じられて面白かったです。

4. 今後参加する生徒に向けたアドバイス

:緊張しないで友達の輪を広げにいく感覚で行っててください。英語でのコミュニケーションで新たな発見があるかもしれません。